

城北



平成 29 年 5 月 1 日 現在

総世帯数	3,548
総人口	7,637
男	3,651
女	3,986

城北人物 風土記

情歌の宗匠・北城庵香風

ほくじょうあんこうふう

蟻ヶ崎東にある姫宮神社の
境内西側の常夜灯に
「姫の宮垣」

たつ石灯籠
いっそ利益も

阿りが崎(蟻ヶ崎)」

という歌が刻まれています。
歌の作者は、明治時代終りか
ら昭和の初めにかけて情歌の



姫宮神社 石碑



左・北城庵香風

宗匠として長野県内はもとよ
り全国にその名を知られた北
城庵香風です。

北城庵香風は、本名を丸山
喜代太郎といい、1865年
(慶応元年)に旧蟻ヶ崎村(現、
蟻ヶ崎東)に生まれました。

明治時代の松本は、情歌の
盛んなところで香風も若いこ
ろから情歌に親しみ、一旦は
松本警察署の書記になりました
が、情歌の道を究めるため
比較的勤務時間に余裕がある
小使いになったということだ
す。

情歌は、男女の恋愛を主な
題材としたところから「情の
歌」とも言われ、江戸時代に
基礎が築かれた七七七五の
「都々逸」の別名です。

香風は、多くの情歌会を主
宰したり、新聞投稿の選者を
務めたりして後進の指導に当
たりましたが、1回の会に1
万8千句の投句もあったとい
うことです。

香風は、早くに妻を亡くし
子ども3人を抱えながらもな
お情歌の道に精進し1939
年(昭和14年)に亡くなりま
したが、辞世の句は、
「月にも花にも

名残を捨てて
遠のよみぢ(黄泉路)へ
文行脚」

で、香風がこの道一筋に掛け
た情念が忍ばれます。

香風の歌碑は、姫宮神社東
側の常夜灯、御手洗の石、燭
台石、休憩石のほか、鹽竈神
社、深志神社、正隣寺にもあ
ります。

ホタルも棲める自然



なども食べた
りするとい
うこと
です。

庄内地区の試み

沢村公民館で4月23日に信
大名誉教授でホタル研究の第
一人者の藤山静雄さんが「ホ
タルも棲める自然」と題した
講演をされました。

藤山さんは、初めに日本の
ホタルについて話しました。

それによりますと、日本に
は現在50種ほどのホタルがい
ますが、幼虫の頃に水中で過
ごすホタルはわずか3種類。
また、成虫になって光りなが
ら飛び回るのはゲンジホタ
ル、ヘイケホタル、ヒメホタ
ルなど極わずかです。

ホタルのエサはカワニナが
良く知られていますが、他の
ホタルを食べたり、水中生物

藤山さんは続けて、「最近
は、人工の小川を造って幼虫
を放流するなどホタルの復活
活動が盛んですが、場合に
よってはその地域の生態系を
壊しかねません」と警鐘を鳴
らし、「松本市生物多様性地
域戦略モデル地区」に指定さ
れた「庄内ほたる」と水辺の
会」の活動は特筆されると強
調しました。

そして最後に、初夏にはホ
タルが飛び交う大門沢川があ
る地域だけに自然環境の大切
さを考えてほしい、と講演を
締めくくりました。

入学式

▶ 開智小



◀ 旭町小

▼ 深志高校

▶ 附属小



◀ 附属中



いちごの風

春の笑顔



松本市桜開花宣言



西町 ▲

こいのぼり

▼ 沢村



▼ 蟻ヶ崎台



田町 ▲

お花見

のびのびひろば



徒士町 ▲



▲ 児童館